

令和2年度研究科アンケートの結果について

回答数 29 令和元年度89

1. 成果について

(18) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
令和2年度	16(55.2%)	10(34.5%)	2(6.9%)	1(3.4%)
令和元年度	42(47.2%)	38(42.7%)	4(4.5%)	1(1.1%)
平成30年度	64(68.8%)	26(28.0%)	1(1.1%)	0(0.0%)
平成29年度	68(63.6%)	39(36.4%)	0(0.0%)	0(0.0%)
平成28年度	51(50.0%)	46(45.1%)	2(2.0%)	0(0.0%)
平成27年度	75(67.0%)	32(28.6%)	1(0.9%)	0(0.0%)
平成26年度	63(59.4%)	37(34.9%)	1(0.9%)	0(0.0%)
平成25年度	51(44.7%)	58(50.9%)	5(4.4%)	0(0.0%)

(19) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

	とても	少し	変わらない	あまり	ほとんど
令和2年度	12(41.4%)	5(17.2%)	10(34.5%)	1(3.4%)	1(3.4%)
令和元年度	32(36.0%)	25(28.1%)	21(23.6%)	5(5.6%)	2(2.2%)
平成30年度	42(45.2%)	29(31.2%)	17(18.3%)	3(3.2%)	0(0.0%)
平成29年度	44(41.1%)	31(29.0%)	15(14.0%)	11(10.3%)	5(4.7%)
平成28年度	38(37.3%)	38(37.3%)	14(13.7%)	6(5.9%)	1(1.0%)
平成27年度	49(43.8%)	41(36.6%)	14(12.5%)	6(5.7%)	0(0.0%)
平成26年度	47(44.3%)	29(27.4%)	18(17.0%)	3(2.7%)	0(0.0%)
平成25年度	43(37.7%)	34(29.8%)	27(23.7%)	6(5.3%)	4(3.5%)

(20) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

	すごく薦める	やや薦める	どちらとも	あまり薦めない	全く薦めない
令和2年度	9(31.0%)	10(34.5%)	5(17.2%)	2(6.9%)	3(10.3%)
令和元年度	22(24.7%)	35(39.3%)	15(16.9%)	10(11.2%)	3(3.4%)
平成30年度	28(30.1%)	47(50.5%)	12(12.9%)	3(3.2%)	1(1.1%)
平成29年度	38(35.5%)	43(40.2%)	20(18.7%)	3(2.8%)	3(2.8%)
平成28年度	20(19.6%)	59(57.8%)	14(13.7%)	4(3.9%)	2(2.0%)
平成27年度	38(33.9%)	57(50.9%)	13(11.6%)	0(0.0%)	0(0.0%)
平成26年度	29(27.4%)	41(38.7%)	25(23.6%)	2(1.9%)	4(3.8%)
平成25年度	15(13.2%)	36(31.6%)	43(37.7%)	8(7.0%)	5(4.4%)

※「自分のためになった」「ますます教員になりたい」の否定的回答は、いずれもM2であった。「入学について聞かれたら薦めますか」の否定的回答は、「あまり薦めない」の回答はM1、「全く薦めない」の回答はM2であった。M2は、昨年度も否定的回答が多く、改善されることなく終了していったと思われる。「入学について聞かれたら薦めますか」の「すごく薦める」の回答は、9名中7名が学校経営力高度化コースの院生であった。

2. カリキュラムについて

(4) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

	期待以上	まあまあ期待通り	少し期待はずれ	全く期待はずれ
令和2年度	10(34.5%)	11(37.9%)	5(17.2%)	3(10.3%)
令和元年度	26(29.2%)	44(49.4%)	16(18.0%)	3(3.4%)
平成30年度	31(33.3%)	51(54.8%)	9(9.7%)	1(1.1%)
平成29年度	35(32.7%)	59(55.1%)	11(10.3%)	2(1.9%)
平成28年度	24(23.5%)	62(60.8%)	15(14.7%)	0(0.0%)
平成27年度	50(44.6%)	58(51.8%)	4(3.6%)	0(0.0%)
平成26年度	28(26.4%)	65(61.3%)	13(12.3%)	0(0.0%)
平成25年度	12(10.5%)	72(63.2%)	26(22.8%)	3(2.6%)

(5) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和2年度	8(27.6%)	13(44.8%)	7(24.1%)	1(3.4%)
令和元年度	9(10.1%)	60(67.4%)	20(22.5%)	0(0.0%)
平成30年度	21(22.6%)	49(52.7%)	23(24.7%)	0(0.0%)
平成29年度	14(13.1%)	63(58.9%)	27(25.2%)	2(1.9%)
平成28年度	12(11.8%)	66(64.7%)	22(21.6%)	1(1.0%)
平成27年度	22(19.6%)	75(67.0%)	12(10.7%)	2(1.8%)
平成26年度	18(17.0%)	55(51.9%)	31(29.2%)	2(1.9%)
平成25年度	5(4.4%)	57(50.0%)	44(38.6%)	7(6.1%)

(6) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

	とても思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない
令和2年度	7(24.1%)	16(55.2%)	4(13.8%)	2(6.9%)
令和元年度	11(12.4%)	58(65.2%)	18(20.2%)	2(2.2%)
平成30年度	20(21.5%)	65(69.9%)	8(8.6%)	0(0.0%)
平成29年度	13(12.1%)	86(80.5%)	7(6.5%)	1(0.9%)
平成28年度	14(13.7%)	72(70.8%)	14(13.7%)	1(1.0%)
平成27年度	25(22.3%)	80(71.4%)	7(6.3%)	0(0.0%)
平成26年度	30(28.3%)	64(60.4%)	11(10.4%)	1(0.9%)
平成25年度	10(8.8%)	70(61.4%)	32(28.1%)	1(0.9%)

(11) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていきますか。

	とても思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない
令和2年度	7(24.1%)	15(51.7%)	5(17.2%)	2(6.9%)
令和元年度	21(23.6%)	50(56.2%)	11(12.4%)	1(1.1%)
平成30年度	28(30.1%)	53(57.0%)	8(8.6%)	0(0.0%)
平成29年度	33(30.8%)	66(61.7%)	6(5.6%)	0(0.0%)
平成28年度	26(25.5%)	65(63.7%)	3(2.9%)	0(0.0%)
平成27年度	48(42.9%)	62(55.4%)	1(0.9%)	0(0.0%)
平成26年度	34(32.1%)	66(62.3%)	2(1.9%)	0(0.0%)
平成25年度	26(22.8%)	75(65.8%)	12(10.5%)	0(0.0%)

(8-1) 年間を通じて、フィールドワークの回数は適切でしたか。

	多かった	ちょうどよかった	少なかった
令和2年度	1(3.4%)	12(41.4%)	16(55.2%)
令和元年度	3(3.4%)	64(71.9%)	19(21.3%)
平成30年度	2(2.2%)	61(65.6%)	27(29.0%)
平成29年度	5(4.7%)	78(72.9%)	21(19.6%)
平成28年度	4(3.9%)	69(67.6%)	23(22.5%)
平成27年度	3(2.7%)	91(81.3%)	18(16.1%)
平成26年度	23(21.7%)	62(58.5%)	17(16.0%)

(8-2) 年間を通じてフィールドワークにおける学びについて、どの程度満足しましたか。

	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満
令和2年度	4(13.8%)	14(48.3%)	9(31.0%)	2(6.9%)
令和元年度	25(28.1%)	38(42.7%)	20(22.5%)	3(3.4%)
平成30年度	25(26.9%)	54(58.1%)	10(10.8%)	0(0.0%)
平成29年度	26(24.3%)	64(59.8%)	14(13.1%)	0(0.0%)
平成28年度	16(15.7%)	64(62.7%)	13(12.7%)	3(2.9%)
平成27年度	30(26.8%)	73(65.2%)	9(8.0%)	0(0.0%)
平成26年度	32(30.2%)	54(50.9%)	15(14.2%)	1(0.9%)

(9-1) (前期)共通必修科目→教職専門実習Ⅰ→(後期)共通必修科目の授業科目の配置は、学びを深める上で適切でしたか。(M1 ストレートマスター対象)

	とても思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない
令和2年度	0(0.0%)	2(50.0%)	2(50.0%)	0(0.0%)
令和元年度	4(10.8%)	19(51.4%)	8(21.6%)	3(8.1%)
平成30年度	7(18.9%)	27(73.0%)	2(5.4%)	0(0.0%)
平成29年度	16(29.1%)	24(43.6%)	7(12.7%)	1(1.9%)
平成28年度	10(27.0%)	19(51.4%)	5(13.5%)	1(2.7%)
平成27年度	13(27.1%)	33(68.8%)	2(4.2%)	0(0.0%)
平成26年度	17(34.0%)	27(54.0%)	2(4.0%)	0(0.0%)

(9-2) 教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びつけることができましたか。(M2 ストレートマスター対象)

	とても思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない
令和2年度	0(0.0%)	3(27.3%)	3(27.3%)	5(45.5%)
令和元年度	12(33.3%)	16(44.4%)	7(19.4%)	1(2.8%)
平成30年度	12(29.3%)	19(46.3%)	6(14.6%)	4(9.8%)
平成29年度	13(25.0%)	22(42.3%)	8(15.4%)	1(1.9%)
平成28年度	11(22.9%)	29(60.4%)	3(6.3%)	2(4.2%)
平成27年度	23(48.9%)	18(38.3%)	6(12.8%)	0(0.0%)

※授業内容について、否定的回答が昨年に引き続き多い印象がある。

授業内容は、期待していた通りか、という質問に対して「まったく期待はずれ」3名は、いずれもM2であり、昨年度の3名はいずれもM1であることから、昨年度と同じ院生が回答している可能性がある。

また回答数が少ないので断定はできないが、(9-2)の教職専門実習を修了論文に結びつけられたという質問に、「まったく思わない」が半数近くもあり、コロナ禍の影響も考えられるが教職専門実習の成果を活かした修了論文の作成は難しかったようである。

フィールドワークに対する不満も例年より多い傾向が見られる。フィールドワークの回数が「少なかった」という回答が例年に比べて、かなり多くなっているように思われる。

3. 院生への支援体制について

(12) 履修指導は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和2年度	11(37.9%)	11(37.9%)	5(17.2%)	2(6.9%)
令和元年度	23(25.8%)	45(50.6%)	11(12.4%)	3(3.4%)
平成30年度	33(35.5%)	45(48.4%)	9(9.7%)	1(1.1%)
平成29年度	37(34.6%)	54(50.5%)	8(7.5%)	5(4.7%)
平成28年度	23(22.5%)	62(60.8%)	8(7.8%)	2(2.0%)
平成27年度	42(37.5%)	61(54.5%)	6(5.4%)	0(0.0%)
平成26年度	36(34.0%)	52(49.1%)	13(12.3%)	1(0.9%)
平成25年度	26(22.8%)	60(52.6%)	21(18.4%)	5(4.4%)

(13) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和2年度	2(13.3%)	6(40.0%)	3(20.0%)	2(13.3%)
令和元年度	11(15.1%)	41(56.2%)	10(13.7%)	4(5.5%)
平成30年度	27(29.0%)	46(49.5%)	6(6.5%)	2(2.2%)
平成29年度	24(22.4%)	50(46.7%)	17(15.9%)	2(1.9%)
平成28年度	20(23.5%)	47(55.3%)	7(8.2%)	1(1.2%)
平成27年度	30(31.6%)	48(50.5%)	15(15.8%)	1(1.1%)
平成26年度	21(19.8%)	51(48.1%)	16(15.1%)	2(1.9%)
平成25年度	18(15.8%)	59(51.8%)	23(20.2%)	1(0.9%)

(14) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和2年度	2(13.3%)	9(60.0%)	3(20.0%)	0(0.0%)
令和元年度	22(30.1%)	35(47.9%)	9(12.3%)	1(1.4%)
平成30年度	32(34.4%)	44(47.3%)	7(7.5%)	1(1.1%)
平成29年度	31(29.0%)	49(45.8%)	12(11.2%)	2(1.9%)
平成28年度	23(27.1%)	47(55.3%)	7(8.2%)	0(0.0%)
平成27年度	43(45.3%)	44(46.3%)	6(6.3%)	1(1.1%)
平成26年度	37(34.9%)	45(42.5%)	9(8.5%)	0(0.0%)
平成25年度	29(25.4%)	49(43.0%)	21(18.4%)	4(3.5%)

(10) ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。

	とても思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない
令和2年度	13(44.8%)	12(41.4%)	1(3.4%)	3(10.3%)
令和元年度	38(42.7%)	29(32.6%)	12(13.5%)	4(4.5%)
平成30年度	50(53.8%)	33(35.5%)	5(5.4%)	2(2.2%)
平成29年度	58(54.3%)	41(38.3%)	4(3.7%)	1(0.9%)

平成 28 年度	46(45.1%)	42(41.2%)	7(6.9%)	0(0.0%)
平成 27 年度	67(59.8%)	39(34.8%)	5(4.5%)	0(0.0%)
平成 26 年度	59(55.7%)	39(36.8%)	3(2.8%)	1(0.9%)

※例年と単純な比較はできないが、院生支援に対する不満は毎年、必ず生じる。院生の感じていることを受け止める体制を整備することは、毎年、意識して取り組む必要がある。

4. 施設設備

(16)-1 教室の設備は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和 2 年度	6(20.7%)	11(37.9%)	8(27.6%)	3(10.3%)
令和元年度	8(9.0%)	31(34.8%)	32(36.0%)	12(13.5%)
平成 30 年度	15(16.1%)	41(44.1%)	27(29.0%)	6(6.5%)
平成 29 年度	16(15.0%)	37(34.5%)	42(39.3%)	10(9.3%)
平成 28 年度	18(17.0%)	52(51.0%)	19(18.6%)	5(4.9%)
平成 27 年度	18(16.1%)	67(59.8%)	21(18.8%)	3(2.7%)
平成 26 年度	18(17.0%)	59(55.7%)	22(20.8%)	3(2.8%)
平成 25 年度	7(6.1%)	61(53.5%)	40(35.1%)	6(5.3%)

(16)-2 院生室の設備は適切でしたか。

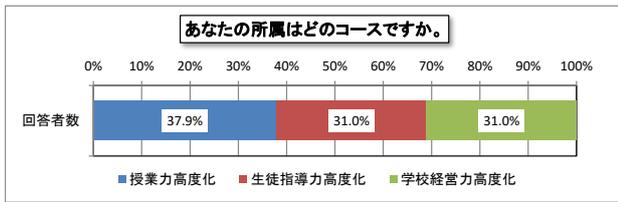
	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和 2 年度	5(17.2%)	11(37.9%)	6(20.7%)	6(20.7%)
令和元年度	8(9.0%)	25(28.1%)	32(36.0%)	20(22.5%)
平成 30 年度	14(15.1%)	38(40.9%)	29(31.2%)	10(10.8%)
平成 29 年度	31(29.0%)	36(33.6%)	24(22.4%)	16(15.0%)
平成 28 年度	17(16.7%)	55(53.9%)	22(21.6%)	5(7.9%)
平成 27 年度	34(30.4%)	46(41.1%)	23(20.5%)	5(4.5%)
平成 26 年度	17(16.0%)	46(43.4%)	29(27.4%)	10(9.4%)
平成 25 年度	16(14.0%)	48(42.1%)	42(36.8%)	7(6.1%)

(16)-3 大学の設備は適切でしたか。

	適切	まあまあ適切	あまり適切でない	まったく適切でない
令和 2 年度	4(13.8%)	13(44.8%)	9(31.0%)	2(6.9%)
令和元年度	6(6.7%)	39(43.8%)	31(34.8%)	9(10.1%)
平成 30 年度	11(11.8%)	43(46.2%)	32(34.4%)	4(4.3%)
平成 29 年度	10(9.3%)	48(44.9%)	39(36.5%)	10(9.3%)
平成 28 年度	11(10.8%)	51(50.0%)	35(34.3%)	2(2.0%)
平成 27 年度	34(30.4%)	46(41.1%)	23(20.5%)	5(4.5%)
平成 26 年度	17(16.0%)	46(43.4%)	29(27.4%)	10(9.4%)
平成 25 年度	7(6.1%)	54(47.4%)	45(39.5%)	8(7.0%)

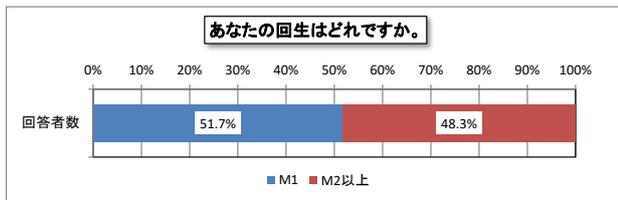
※施設・設備に対する不満は、相変わらず大きい。院生室について改修を予定していることから、院生の声に耳を傾けて、よりよいものにしていきたい。

研究科アンケート(2020年度 全体)



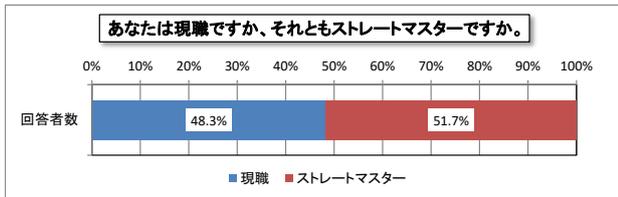
(1) あなたの所属はどのコースですか。

区分	合計
1 授業力高度化	11 (37.9%)
2 生徒指導力高度化	9 (31.0%)
3 学校経営力高度化	9 (31.0%)
合計	29 (100.0%)



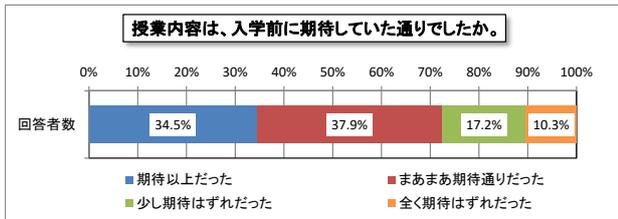
(2) あなたの回生はどれですか。

区分	合計
1 M1	15 (51.7%)
2 M2以上	14 (48.3%)
合計	29 (100.0%)



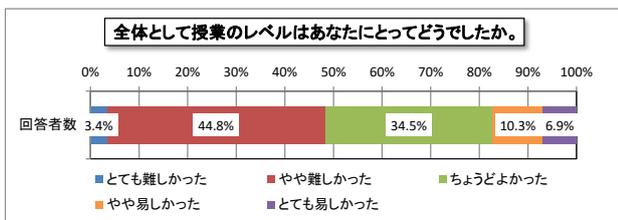
(3) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。

区分	合計
1 現職	14 (48.3%)
2 ストレートマスター	15 (51.7%)
合計	29 (100.0%)



(4) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

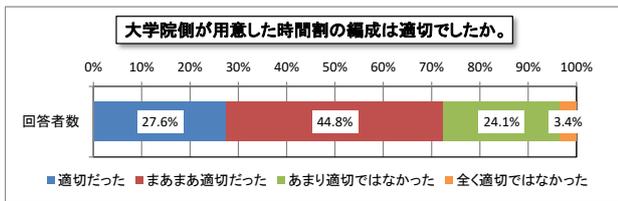
区分	合計
1 期待以上だった	10 (34.5%)
2 まあまあ期待通りだった	11 (37.9%)
3 少し期待はずれだった	5 (17.2%)
4 全く期待はずれだった	3 (10.3%)
合計	29 (100.0%)



(5) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。

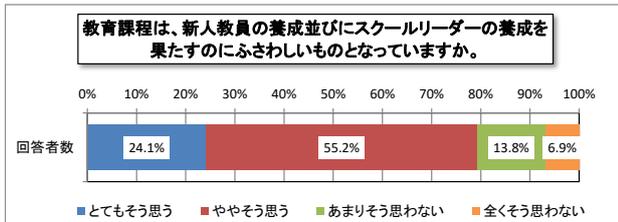
区分	合計
1 とても難しかった	1 (3.4%)
2 やや難しかった	13 (44.8%)
3 ちょうどよかった	10 (34.5%)
4 やや易しかった	3 (10.3%)
5 とても易しかった	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 全体)



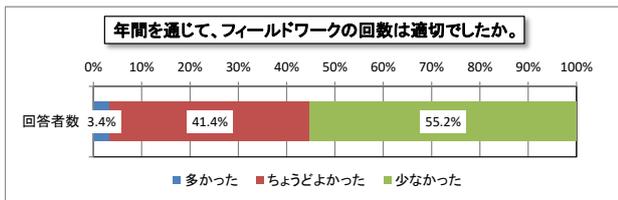
(6) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

区分	合計
1 適切だった	8 (27.6%)
2 まあまあ適切だった	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	7 (24.1%)
4 全く適切ではなかった	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



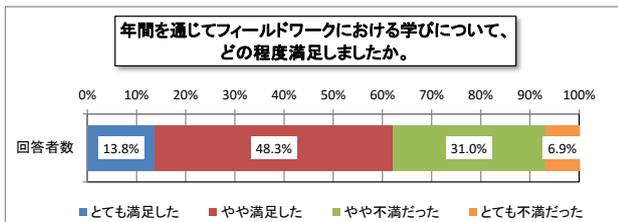
(7) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

区分	合計
1 とてもそう思う	7 (24.1%)
2 ややそう思う	16 (55.2%)
3 あまりそう思わない	4 (13.8%)
4 全くそう思わない	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)



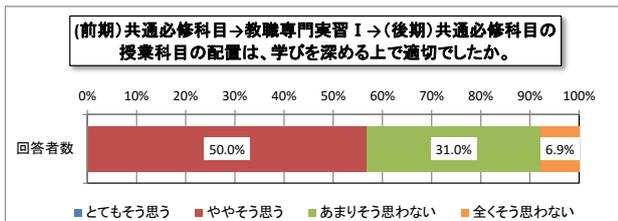
(8) 年間を通じて、フィールドワークの回数は適切でしたか。

区分	合計
1 多かった	1 (3.4%)
2 ちょうどよかった	12 (41.4%)
3 少なかった	16 (55.2%)
合計	29 (100.0%)



(9) 年間を通じてフィールドワークにおける学びについて、どの程度満足しましたか。

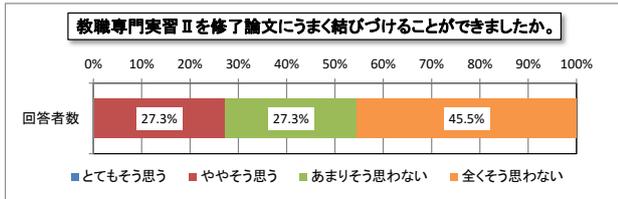
区分	合計
1 とても満足した	4 (13.8%)
2 やや満足した	14 (48.3%)
3 やや不満だった	9 (31.0%)
4 とても不満だった	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)



(10) (前期)共通必修科目→教職専門実習Ⅰ→(後期)共通必修科目の授業科目の配置は、学びを深める上で適切でしたか。(M1ストレートマスター対象)

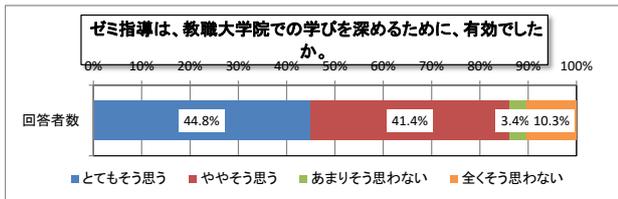
区分	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)
2 ややそう思う	2 (50.0%)
3 あまりそう思わない	2 (50.0%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)
合計	4 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 全体)



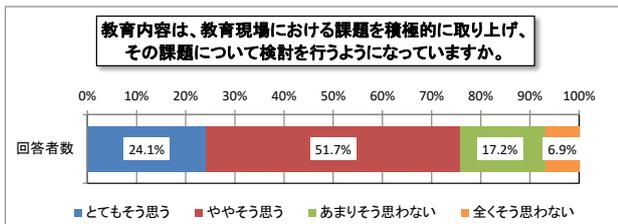
(11) 教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びづけることができましたか。
(M2ストレートマスター対象)

区分	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)
2 ややそう思う	3 (27.3%)
3 あまりそう思わない	3 (27.3%)
4 全くそう思わない	5 (45.5%)
合計	11 (100.0%)



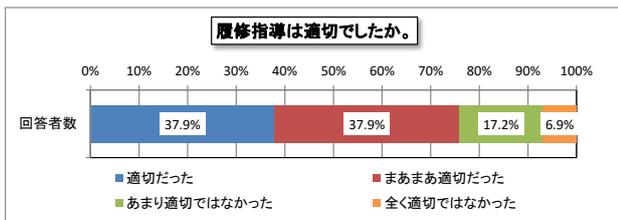
(12) ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。

区分	合計
1 とてもそう思う	13 (44.8%)
2 ややそう思う	12 (41.4%)
3 あまりそう思わない	1 (3.4%)
4 全くそう思わない	3 (10.3%)
合計	29 (100.0%)



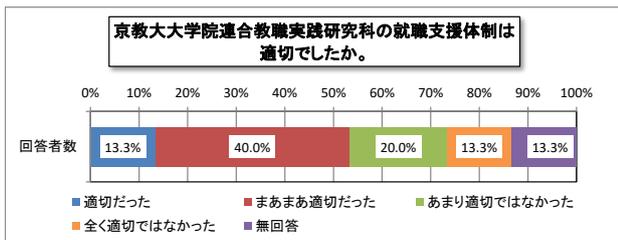
(13) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。

区分	合計
1 とてもそう思う	7 (24.1%)
2 ややそう思う	15 (51.7%)
3 あまりそう思わない	5 (17.2%)
4 全くそう思わない	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)



(14) 履修指導は適切でしたか。

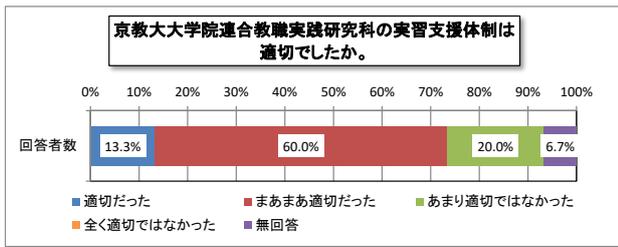
区分	合計
1 適切だった	11 (37.9%)
2 まあまあ適切だった	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)



(15) 京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。
(ストレートマスター対象)

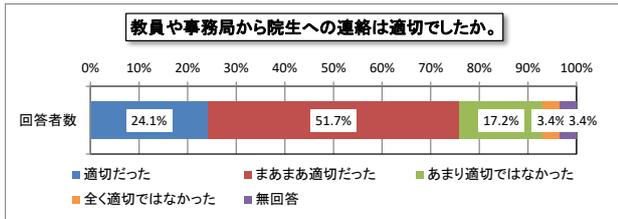
区分	合計
1 適切だった	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	6 (40.0%)
3 あまり適切ではなかった	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	2 (13.3%)
5 無回答	2 (13.3%)
合計	15 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 全体)



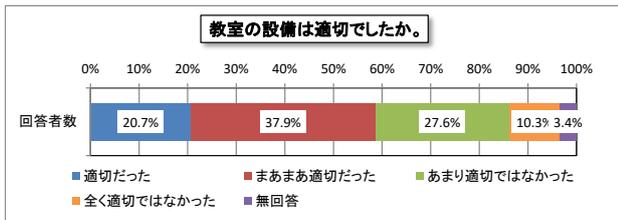
(16) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。
(ストレートマスター対象)

区分	合計
1 適切だった	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	9 (60.0%)
3 あまり適切ではなかった	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)
5 無回答	1 (6.7%)
合計	15 (100.0%)



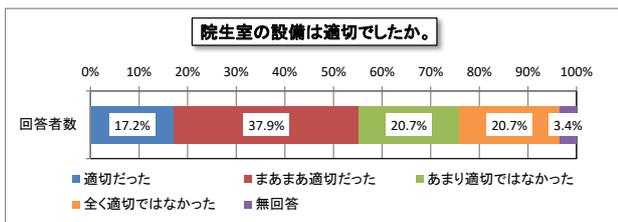
(17) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。

区分	合計
1 適切だった	7 (24.1%)
2 まあまあ適切だった	15 (51.7%)
3 あまり適切ではなかった	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	1 (3.4%)
5 無回答	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



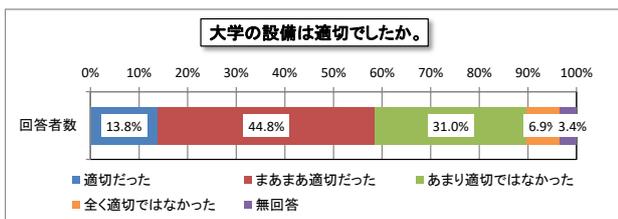
(18) 教室の設備は適切でしたか。

区分	合計
1 適切だった	6 (20.7%)
2 まあまあ適切だった	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	8 (27.6%)
4 全く適切ではなかった	3 (10.3%)
5 無回答	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



(19) 院生室の設備は適切でしたか。

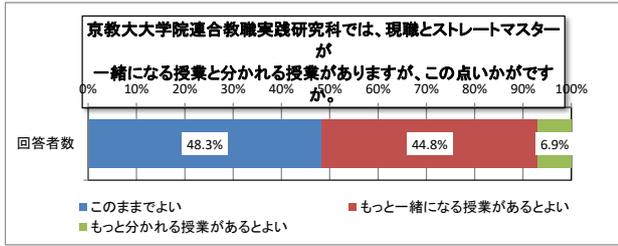
区分	合計
1 適切だった	5 (17.2%)
2 まあまあ適切だった	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	6 (20.7%)
4 全く適切ではなかった	6 (20.7%)
5 無回答	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



(20) 大学の設備は適切でしたか。

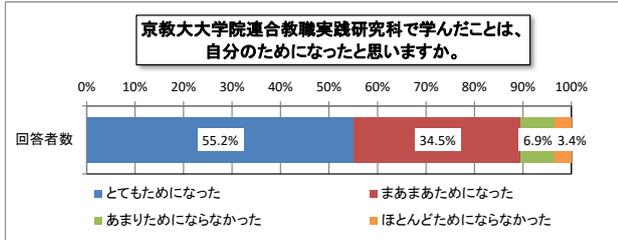
区分	合計
1 適切だった	4 (13.8%)
2 まあまあ適切だった	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	9 (31.0%)
4 全く適切ではなかった	2 (6.9%)
5 無回答	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 全体)



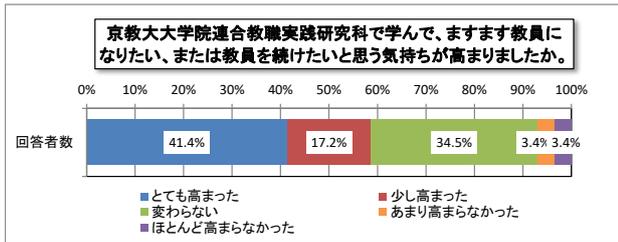
(21) 京教大大学院連合教職実践研究科では、現職とストレートマスターが一緒になる授業と分かれる授業がありますが、この点いかがですか。

区分	合計
1 このままでよい	14 (48.3%)
2 もっと一緒になる授業があるとよい	13 (44.8%)
3 もっと分かれる授業があるとよい	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)



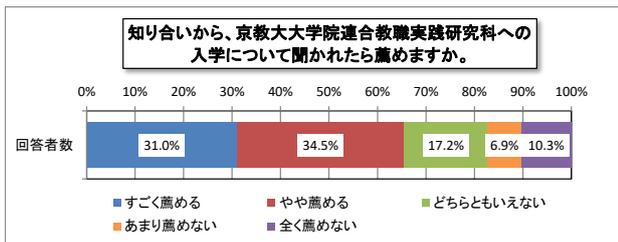
(22) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思えますか。

区分	合計
1 とてもためになった	16 (55.2%)
2 まあまあためになった	10 (34.5%)
3 あまりためにならなかった	2 (6.9%)
4 ほとんどためにならなかった	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



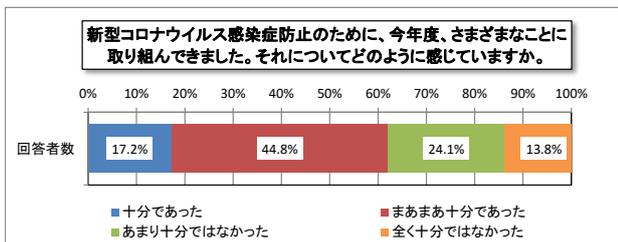
(23) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

区分	合計
1 とても高まった	12 (41.4%)
2 少し高まった	5 (17.2%)
3 変わらない	10 (34.5%)
4 あまり高まらなかった	1 (3.4%)
5 ほとんど高まらなかった	1 (3.4%)
合計	29 (100.0%)



(24) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

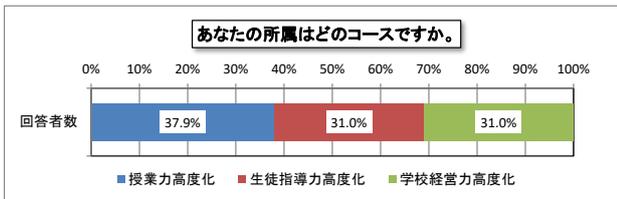
区分	合計
1 強く薦める	9 (31.0%)
2 やや薦める	10 (34.5%)
3 どちらともいえない	5 (17.2%)
4 あまり薦めない	2 (6.9%)
5 全く薦めない	3 (10.3%)
合計	29 (100.0%)



(25) 新型コロナウイルス感染症防止のために、今年度、さまざまなことに取り組んできました。それについてどのように感じていますか。

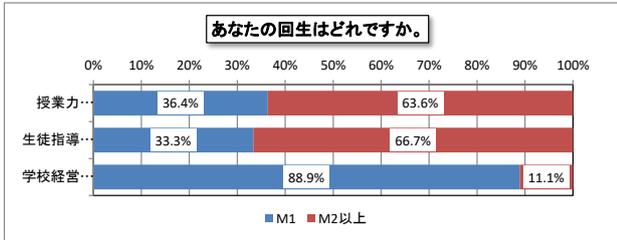
区分	合計
1 十分であった	5 (17.2%)
2 まあまあ十分であった	13 (44.8%)
3 あまり十分ではなかった	7 (24.1%)
4 全く十分ではなかった	4 (13.8%)
合計	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 コース別)



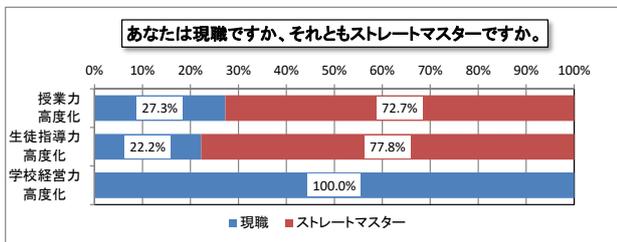
(1) あなたの所属はどのコースですか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
回答者数	11 (37.9%)	9 (31.0%)	9 (31.0%)	29 (100.0%)



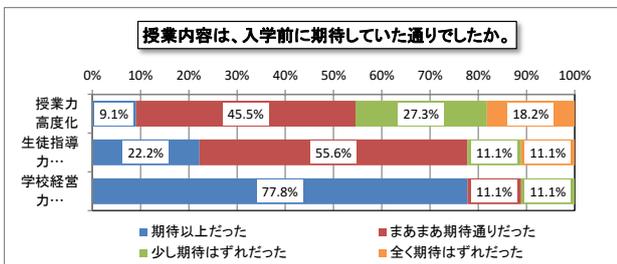
(2) あなたの回生はどれですか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 M1	4 (36.4%)	3 (33.3%)	8 (88.9%)	15 (51.7%)
2 M2以上	7 (63.6%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	14 (48.3%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



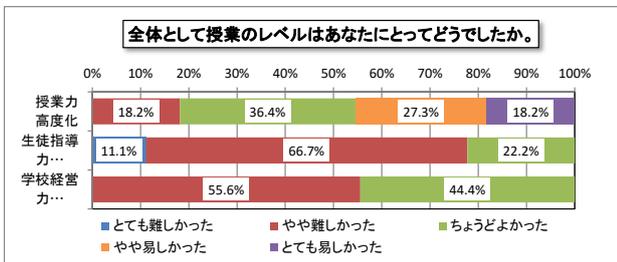
(3) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 現職	3 (27.3%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)	14 (48.3%)
2 ストレートマスター	8 (72.7%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	15 (51.7%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(4) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

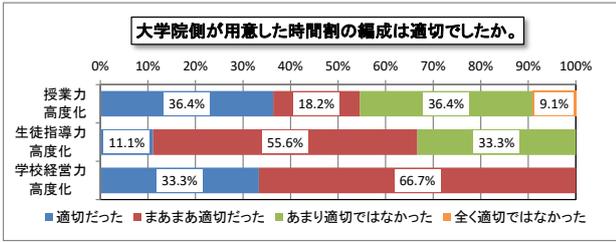
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 期待以上だった	1 (9.1%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	10 (34.5%)
2 まあまあ期待通りだった	5 (45.5%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	11 (37.9%)
3 少し期待はずれだった	3 (27.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	5 (17.2%)
4 全く期待はずれだった	2 (18.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(5) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。

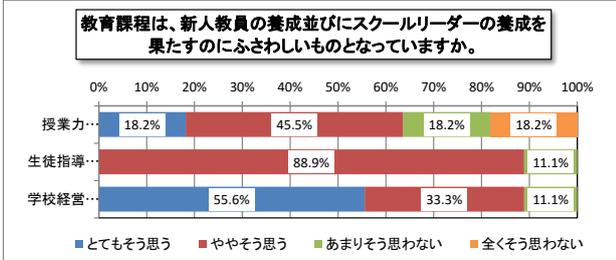
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とても難しかった	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
2 やや難しかった	2 (18.2%)	6 (66.7%)	5 (55.6%)	13 (44.8%)
3 ちょうどよかった	4 (36.4%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	10 (34.5%)
4 やや易しかった	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
5 とても易しかった	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 コース別)



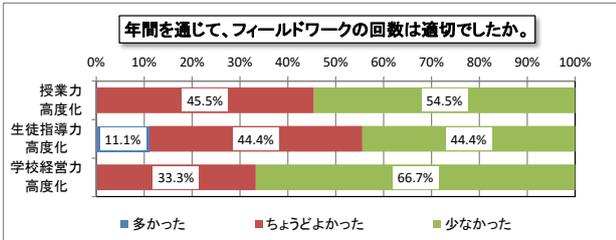
(6) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	4 (36.4%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	8 (27.6%)
2 まあまあ適切だった	2 (18.2%)	5 (55.6%)	6 (66.7%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	4 (36.4%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	7 (24.1%)
4 全く適切ではなかった	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



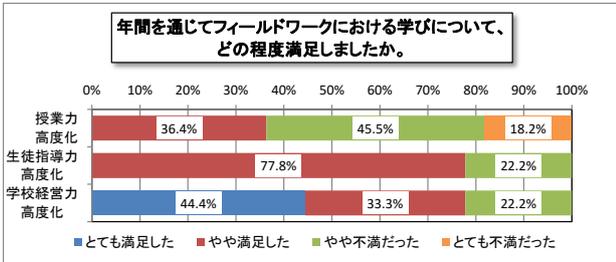
(7) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもそう思う	2 (18.2%)	0 (0.0%)	5 (55.6%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	5 (45.5%)	8 (88.9%)	3 (33.3%)	16 (55.2%)
3 あまりそう思わない	2 (18.2%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	4 (13.8%)
4 全くそう思わない	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



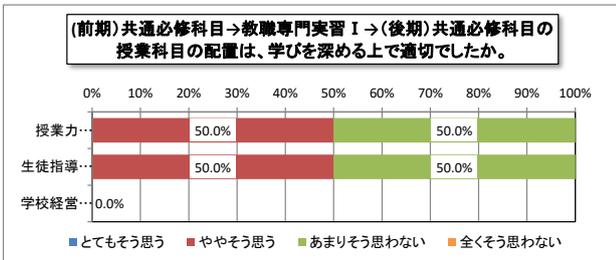
(8) 年間を通じて、フィールドワークの回数は適切でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 多かった	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
2 ちょうどよかった	5 (45.5%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	12 (41.4%)
3 少なかった	6 (54.5%)	4 (44.4%)	6 (66.7%)	16 (55.2%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(9) 年間を通じてフィールドワークにおける学びについて、どの程度満足しましたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とても満足した	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)	4 (13.8%)
2 やや満足した	4 (36.4%)	7 (77.8%)	3 (33.3%)	14 (48.3%)
3 やや不満だった	5 (45.5%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	9 (31.0%)
4 とても不満だった	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

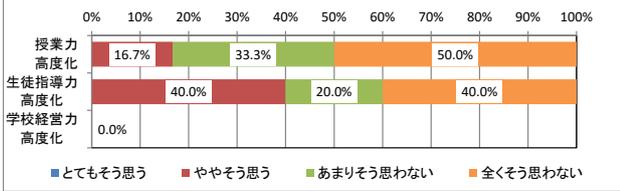


(10) (前期)共通必修科目→教職専門実習Ⅰ→(後期)共通必修科目の授業科目の配置は、学びを深める上で適切でしたか。(ミストレートマスター対象)

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
3 あまりそう思わない	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 コース別)

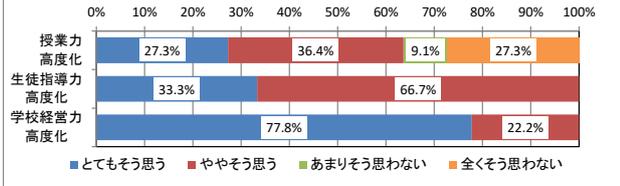
教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びづけることができましたか。



(11) 教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びづけることができましたか。(M2ストレートマスター対象)

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	1 (16.7%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)
3 あまりそう思わない	2 (33.3%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)
4 全くそう思わない	3 (50.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)
合計	6 (100.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)

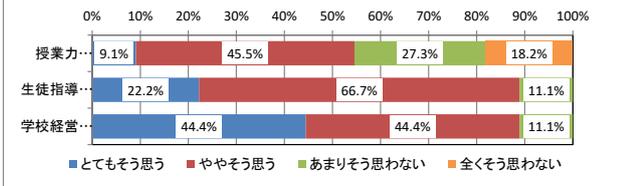
ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。



(12) ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもそう思う	3 (27.3%)	3 (33.3%)	7 (77.8%)	13 (44.8%)
2 ややそう思う	4 (36.4%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)	12 (41.4%)
3 あまりそう思わない	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
4 全くそう思わない	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

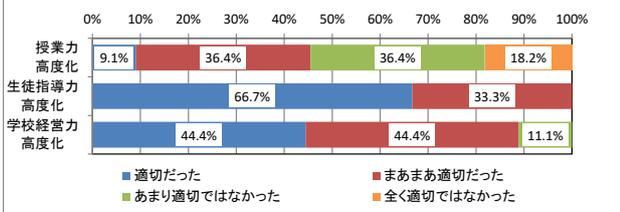
教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。



(13) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもそう思う	1 (9.1%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	5 (45.5%)	6 (66.7%)	4 (44.4%)	15 (51.7%)
3 あまりそう思わない	3 (27.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	5 (17.2%)
4 全くそう思わない	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

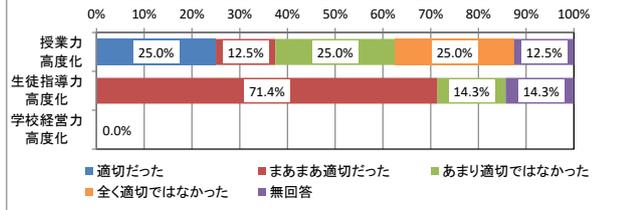
履修指導は適切でしたか。



(14) 履修指導は適切でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	1 (9.1%)	6 (66.7%)	4 (44.4%)	11 (37.9%)
2 まあまあ適切だった	4 (36.4%)	3 (33.3%)	4 (44.4%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	4 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

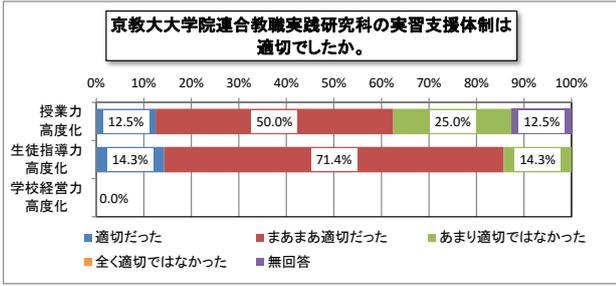
京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



(15) 京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。(ストレートマスター対象)

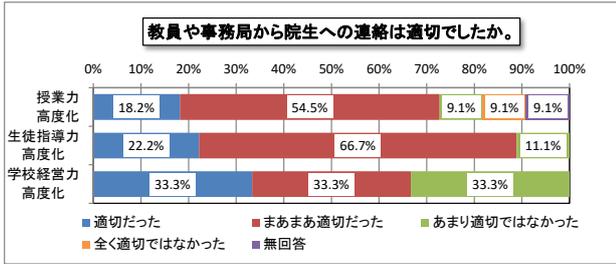
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	1 (12.5%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	6 (40.0%)
3 あまり適切ではなかった	2 (25.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
5 無回答	1 (12.5%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
合計	8 (100.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 コース別)



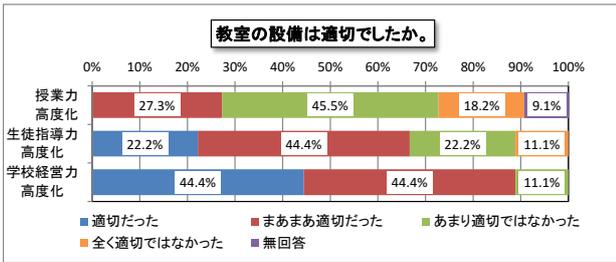
(16) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。(ストレートマスター対象)

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	1 (12.5%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	4 (50.0%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	9 (60.0%)
3 あまり適切ではなかった	2 (25.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5 無回答	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)
合計	8 (100.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)



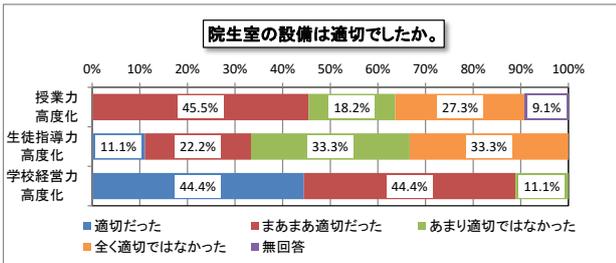
(17) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	2 (18.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	7 (24.1%)
2 まあまあ適切だった	6 (54.5%)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	15 (51.7%)
3 あまり適切ではなかった	1 (9.1%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
5 無回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



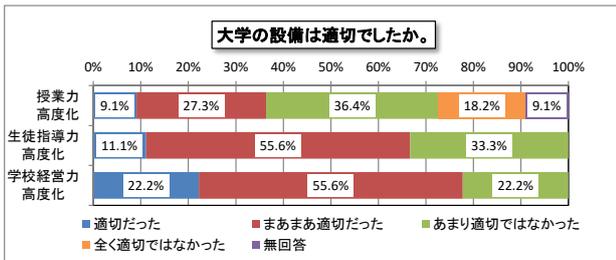
(18) 教室の設備は適切でしたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	6 (20.7%)
2 まあまあ適切だった	3 (27.3%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	5 (45.5%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	8 (27.6%)
4 全く適切ではなかった	2 (18.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
5 無回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(19) 院生室の設備は適切でしたか。

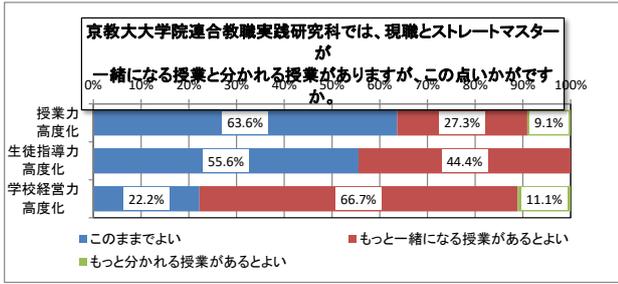
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	5 (17.2%)
2 まあまあ適切だった	5 (45.5%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	2 (18.2%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	6 (20.7%)
4 全く適切ではなかった	3 (27.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	6 (20.7%)
5 無回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(20) 大学の設備は適切でしたか。

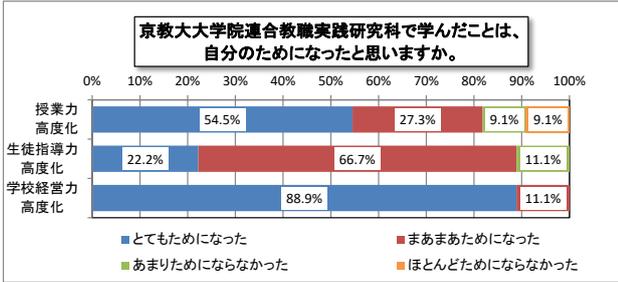
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 適切だった	1 (9.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	4 (13.8%)
2 まあまあ適切だった	3 (27.3%)	5 (55.6%)	5 (55.6%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	4 (36.4%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	9 (31.0%)
4 全く適切ではなかった	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
5 無回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 コース別)



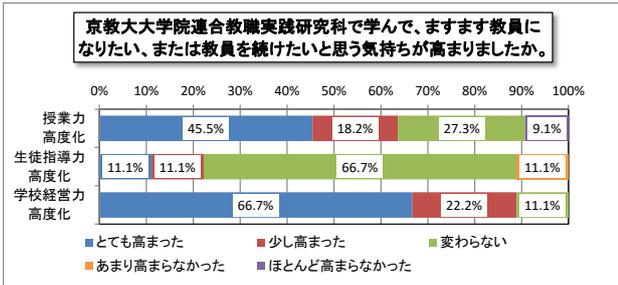
(21) 京教大大学院連合教職実践研究科では、現職とストレートマスターが一緒になる授業と分かれる授業がありますが、この点いかがですか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 このままでよい	7 (63.6%)	5 (55.6%)	2 (22.2%)	14 (48.3%)
2 もっと一緒になる授業があるとよい	3 (27.3%)	4 (44.4%)	6 (66.7%)	13 (44.8%)
3 もっと分かれる授業があるとよい	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	2 (6.9%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



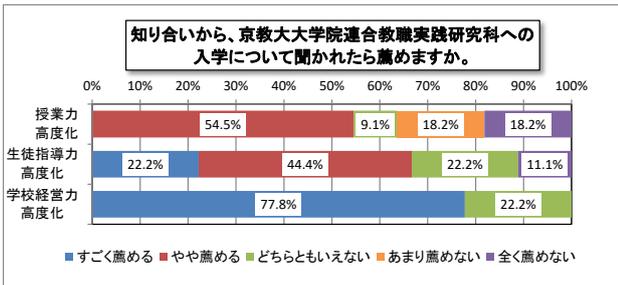
(22) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とてもためになった	6 (54.5%)	2 (22.2%)	8 (88.9%)	16 (55.2%)
2 まあまあためになった	3 (27.3%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	10 (34.5%)
3 あまりためにならなかった	1 (9.1%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
4 ほとんどためにならなかった	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



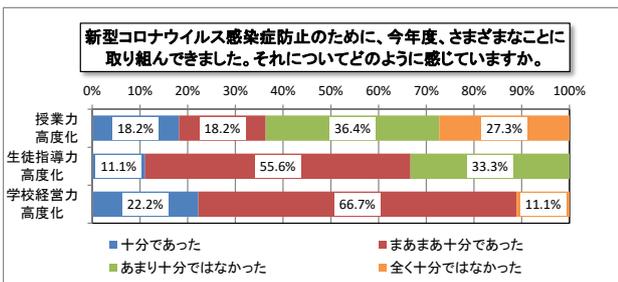
(23) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 とても高まった	5 (45.5%)	1 (11.1%)	6 (66.7%)	12 (41.4%)
2 少し高まった	2 (18.2%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	5 (17.2%)
3 変わらない	3 (27.3%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	10 (34.5%)
4 あまり高まらなかった	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
5 ほとんど高まらなかった	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(24) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

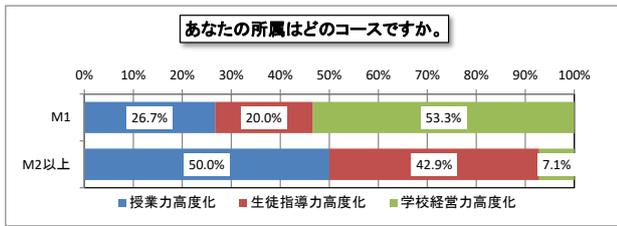
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 すごく薦める	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	9 (31.0%)
2 やや薦める	6 (54.5%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	10 (34.5%)
3 どちらともいえない	1 (9.1%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	5 (17.2%)
4 あまり薦めない	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
5 全く薦めない	2 (18.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)



(25) 新型コロナウイルス感染症防止のために、今年度、さまざまなことに取り組んできました。それについてどのように感じていますか。

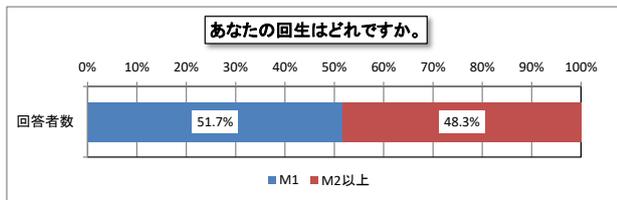
区分	授業力高度化	生徒指導力高度化	学校経営力高度化	合計
1 十分であった	2 (18.2%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	5 (17.2%)
2 まあまあ十分であった	2 (18.2%)	5 (55.6%)	6 (66.7%)	13 (44.8%)
3 あまり十分ではなかった	4 (36.4%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	7 (24.1%)
4 全く十分ではなかった	3 (27.3%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	4 (13.8%)
合計	11 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 回生別)



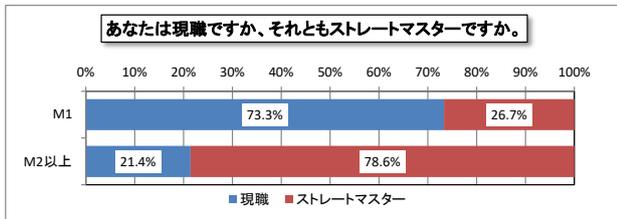
(1) あなたの所属はどのコースですか。

区分	M1	M2以上	合計
1 授業力高度化	4 (26.7%)	7 (50.0%)	11 (37.9%)
2 生徒指導力高度化	3 (20.0%)	6 (42.9%)	9 (31.0%)
3 学校経営力高度化	8 (53.3%)	1 (7.1%)	9 (31.0%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



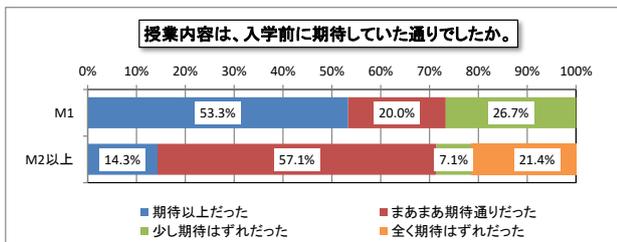
(2) あなたの回生はどれですか。

区分	M1	M2以上	合計
回答者数	15 (51.7%)	14 (48.3%)	29 (100.0%)



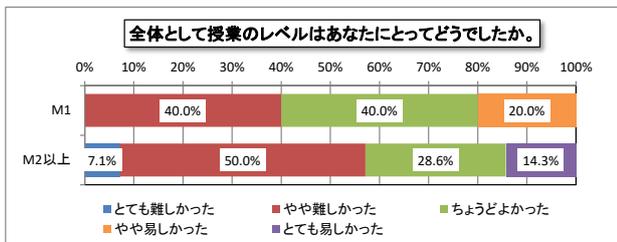
(3) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。

区分	M1	M2以上	合計
1 現職	11 (73.3%)	3 (21.4%)	14 (48.3%)
2 ストレートマスター	4 (26.7%)	11 (78.6%)	15 (51.7%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(4) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

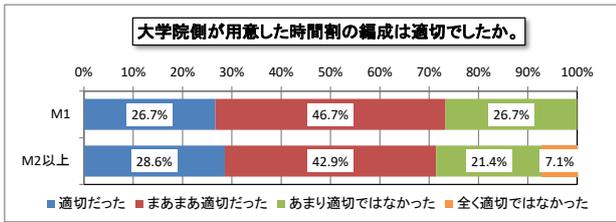
区分	M1	M2以上	合計
1 期待以上だった	8 (53.3%)	2 (14.3%)	10 (34.5%)
2 まあまあ期待通りだった	3 (20.0%)	8 (57.1%)	11 (37.9%)
3 少し期待はずれだった	4 (26.7%)	1 (7.1%)	5 (17.2%)
4 全く期待はずれだった	0 (0.0%)	3 (21.4%)	3 (10.3%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(5) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。

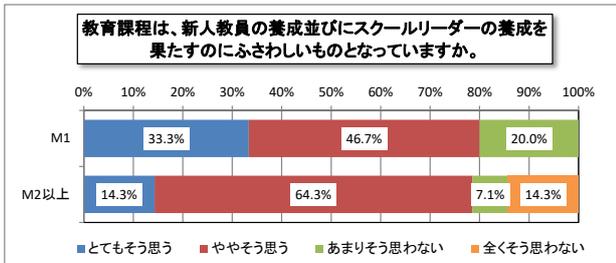
区分	M1	M2以上	合計
1 とても難しかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
2 やや難しかった	6 (40.0%)	7 (50.0%)	13 (44.8%)
3 ちょうどよかった	6 (40.0%)	4 (28.6%)	10 (34.5%)
4 やや易しかった	3 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)
5 とても易しかった	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 回生別)



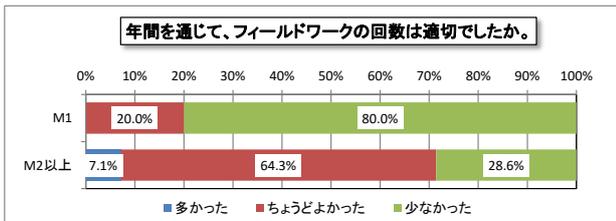
(6) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	4 (26.7%)	4 (28.6%)	8 (27.6%)
2 まあまあ適切だった	7 (46.7%)	6 (42.9%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	4 (26.7%)	3 (21.4%)	7 (24.1%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



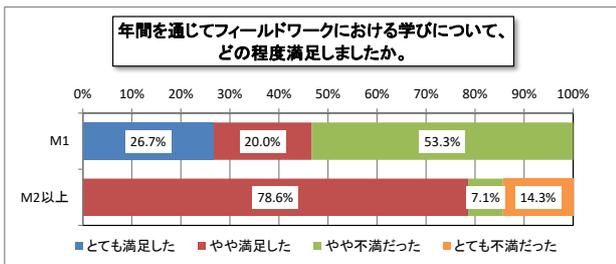
(7) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもそう思う	5 (33.3%)	2 (14.3%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	7 (46.7%)	9 (64.3%)	16 (55.2%)
3 あまりそう思わない	3 (20.0%)	1 (7.1%)	4 (13.8%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



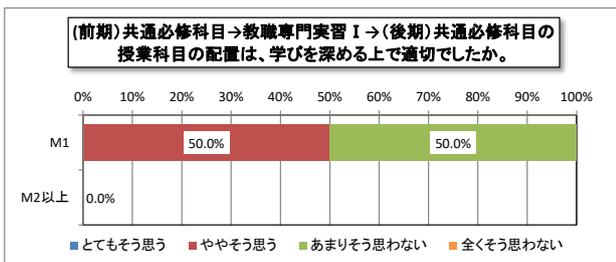
(8) 年間を通じて、フィールドワークの回数は適切でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 多かった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
2 ちょうどよかった	3 (20.0%)	9 (64.3%)	12 (41.4%)
3 少なかった	12 (80.0%)	4 (28.6%)	16 (55.2%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(9) 年間を通じてフィールドワークにおける学びについて、どの程度満足しましたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とても満足した	4 (26.7%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)
2 やや満足した	3 (20.0%)	11 (78.6%)	14 (48.3%)
3 やや不満だった	8 (53.3%)	1 (7.1%)	9 (31.0%)
4 とても不満だった	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

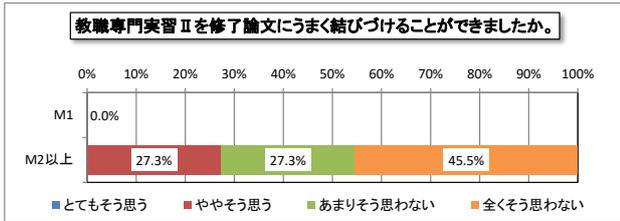


(10) (前期)共通必修科目→教職専門実習Ⅰ→(後期)共通必修科目の授業科目の配置は、学びを深める上で適切でしたか。(M1ストレートマスター対象)

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
3 あまりそう思わない	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	4 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 回生別)

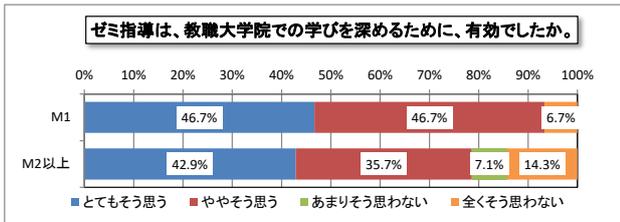
教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びつけることができましたか。



(11) 教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びつけることができましたか。
(M2ストレートマスター対象)

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	0 (0.0%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)
3 あまりそう思わない	0 (0.0%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)
合計	0 (0.0%)	11 (100.0%)	11 (100.0%)

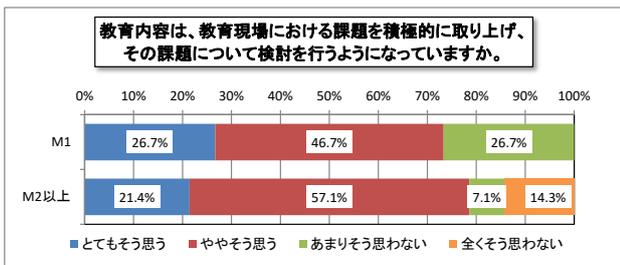
ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。



(12) ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもそう思う	7 (46.7%)	6 (42.9%)	13 (44.8%)
2 ややそう思う	7 (46.7%)	5 (35.7%)	12 (41.4%)
3 あまりそう思わない	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
4 全くそう思わない	1 (6.7%)	2 (14.3%)	3 (10.3%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

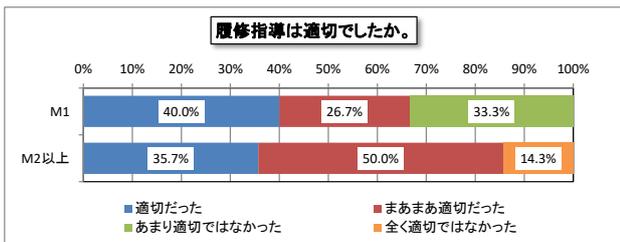
教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。



(13) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもそう思う	4 (26.7%)	3 (21.4%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	7 (46.7%)	8 (57.1%)	15 (51.7%)
3 あまりそう思わない	4 (26.7%)	1 (7.1%)	5 (17.2%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

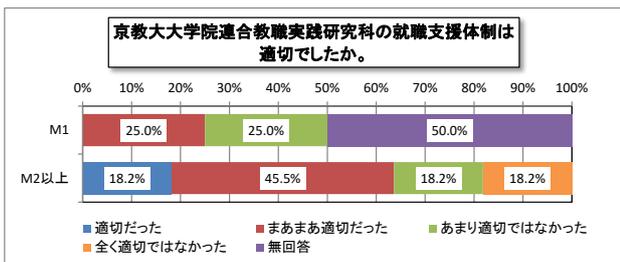
履修指導は適切でしたか。



(14) 履修指導は適切でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	6 (40.0%)	5 (35.7%)	11 (37.9%)
2 まあまあ適切だった	4 (26.7%)	7 (50.0%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	5 (33.3%)	0 (0.0%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

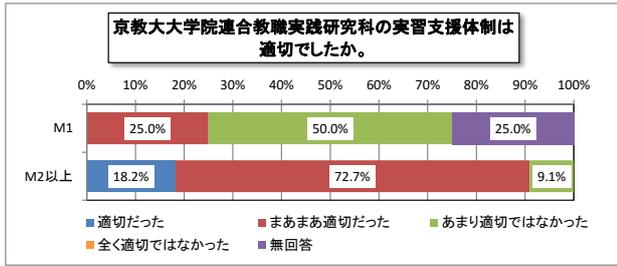
京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



(15) 京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。
(ストレートマスター対象)

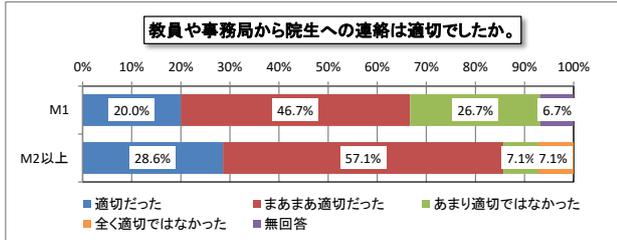
区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	1 (25.0%)	5 (45.5%)	6 (40.0%)
3 あまり適切ではなかった	1 (25.0%)	2 (18.2%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (13.3%)
5 無回答	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
合計	4 (100.0%)	11 (100.0%)	15 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 回生別)



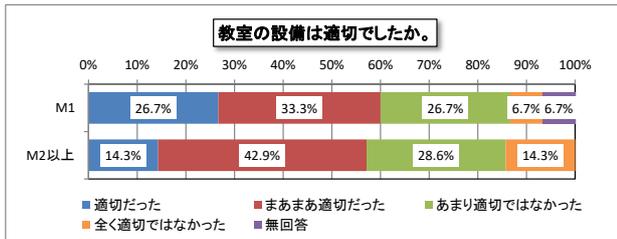
(16) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。(ストレートマスター対象)

区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	1 (25.0%)	8 (72.7%)	9 (60.0%)
3 あまり適切ではなかった	2 (50.0%)	1 (9.1%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5 無回答	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)
合計	4 (100.0%)	11 (100.0%)	15 (100.0%)



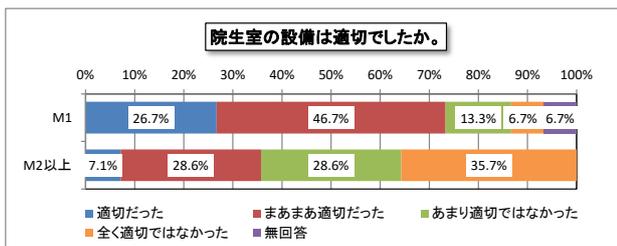
(17) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	3 (20.0%)	4 (28.6%)	7 (24.1%)
2 まあまあ適切だった	7 (46.7%)	8 (57.1%)	15 (51.7%)
3 あまり適切ではなかった	4 (26.7%)	1 (7.1%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
5 無回答	1 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



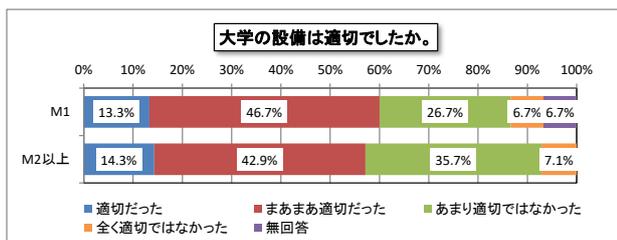
(18) 教室の設備は適切でしたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	4 (26.7%)	2 (14.3%)	6 (20.7%)
2 まあまあ適切だった	5 (33.3%)	6 (42.9%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	4 (26.7%)	4 (28.6%)	8 (27.6%)
4 全く適切ではなかった	1 (6.7%)	2 (14.3%)	3 (10.3%)
5 無回答	1 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(19) 院生室の設備は適切でしたか。

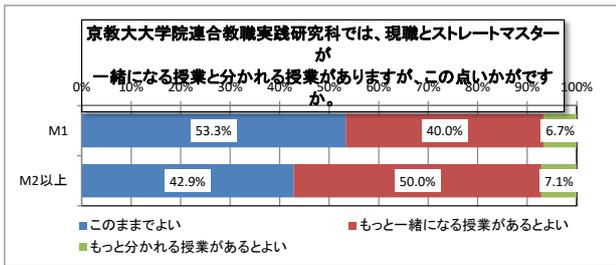
区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	4 (26.7%)	1 (7.1%)	5 (17.2%)
2 まあまあ適切だった	7 (46.7%)	4 (28.6%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	2 (13.3%)	4 (28.6%)	6 (20.7%)
4 全く適切ではなかった	1 (6.7%)	5 (35.7%)	6 (20.7%)
5 無回答	1 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(20) 大学の設備は適切でしたか。

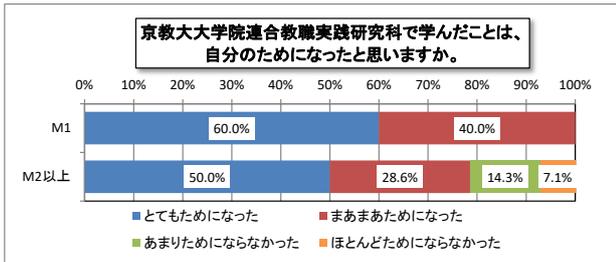
区分	M1	M2以上	合計
1 適切だった	2 (13.3%)	2 (14.3%)	4 (13.8%)
2 まあまあ適切だった	7 (46.7%)	6 (42.9%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	4 (26.7%)	5 (35.7%)	9 (31.0%)
4 全く適切ではなかった	1 (6.7%)	1 (7.1%)	2 (6.9%)
5 無回答	1 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 回生別)



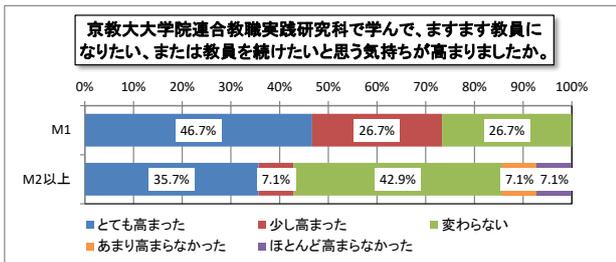
(21) 京教大大学院連合教職実践研究科では、現職とストレートマスターと一緒に授業と分かれる授業がありますが、この点いかがですか。

区分	M1	M2以上	合計
1 このままでよい	8 (53.3%)	6 (42.9%)	14 (48.3%)
2 もっと一緒に授業があるとよい	6 (40.0%)	7 (50.0%)	13 (44.8%)
3 もっと分かれる授業があるとよい	1 (6.7%)	1 (7.1%)	2 (6.9%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



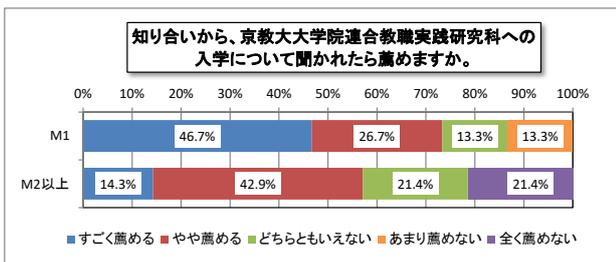
(22) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とてもためになった	9 (60.0%)	7 (50.0%)	16 (55.2%)
2 まあまあためになった	6 (40.0%)	4 (28.6%)	10 (34.5%)
3 あまりためにならなかった	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (6.9%)
4 ほとんどためにならなかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



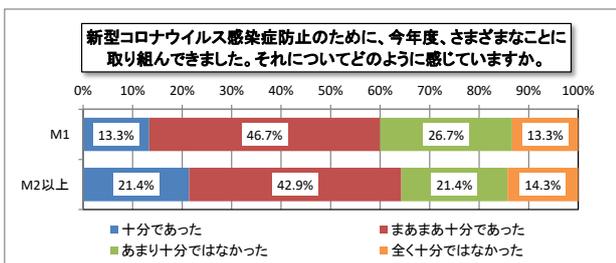
(23) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

区分	M1	M2以上	合計
1 とても高まった	7 (46.7%)	5 (35.7%)	12 (41.4%)
2 少し高まった	4 (26.7%)	1 (7.1%)	5 (17.2%)
3 変わらない	4 (26.7%)	6 (42.9%)	10 (34.5%)
4 あまり高まらなかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
5 ほとんど高まらなかった	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (3.4%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(24) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

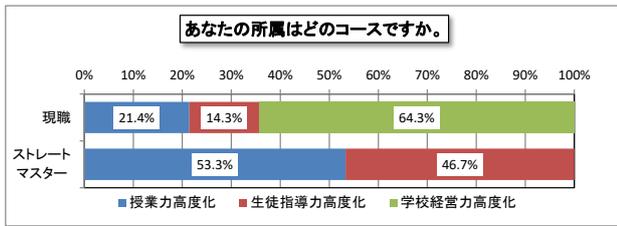
区分	M1	M2以上	合計
1 すごく薦める	7 (46.7%)	2 (14.3%)	9 (31.0%)
2 やや薦める	4 (26.7%)	6 (42.9%)	10 (34.5%)
3 どちらともいえない	2 (13.3%)	3 (21.4%)	5 (17.2%)
4 あまり薦めない	2 (13.3%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
5 全く薦めない	0 (0.0%)	3 (21.4%)	3 (10.3%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)



(25) 新型コロナウイルス感染症防止のために、今年度、さまざまなことに取り組んできました。それについてどのように感じていますか。

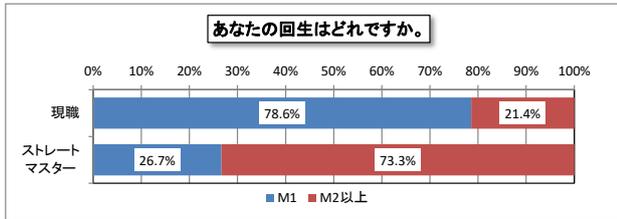
区分	M1	M2以上	合計
1 十分であった	2 (13.3%)	3 (21.4%)	5 (17.2%)
2 まあまあ十分であった	7 (46.7%)	6 (42.9%)	13 (44.8%)
3 あまり十分ではなかった	4 (26.7%)	3 (21.4%)	7 (24.1%)
4 全く十分ではなかった	2 (13.3%)	2 (14.3%)	4 (13.8%)
合計	15 (100.0%)	14 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 現職・ストレートマスター別)



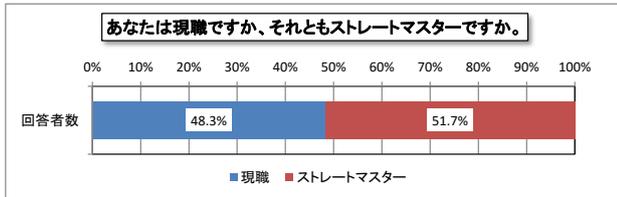
(1) あなたの所属はどのコースですか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 授業力高度化	3 (21.4%)	8 (53.3%)	11 (37.9%)
2 生徒指導力高度化	2 (14.3%)	7 (46.7%)	9 (31.0%)
3 学校経営力高度化	9 (64.3%)	0 (0.0%)	9 (31.0%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



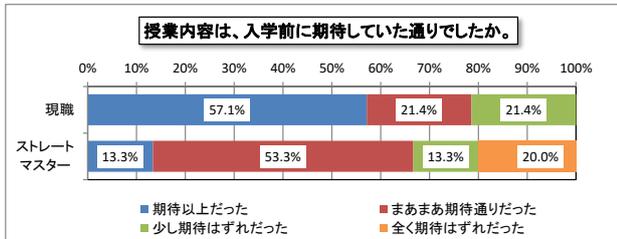
(2) あなたの回生はどれですか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 M1	11 (78.6%)	4 (26.7%)	15 (51.7%)
2 M2以上	3 (21.4%)	11 (73.3%)	14 (48.3%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



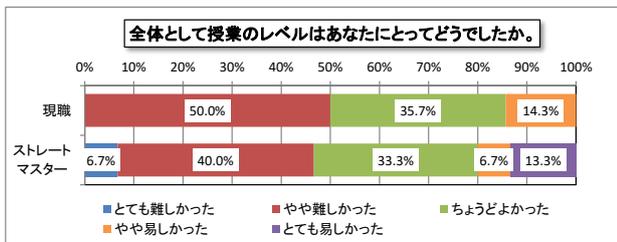
(3) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
回答者数	14 (48.3%)	15 (51.7%)	29 (100.0%)



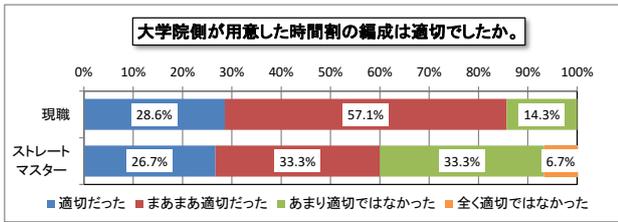
(4) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 期待以上だった	8 (57.1%)	2 (13.3%)	10 (34.5%)
2 まあまあ期待通りだった	3 (21.4%)	8 (53.3%)	11 (37.9%)
3 少し期待はずれだった	3 (21.4%)	2 (13.3%)	5 (17.2%)
4 全く期待はずれだった	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (10.3%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



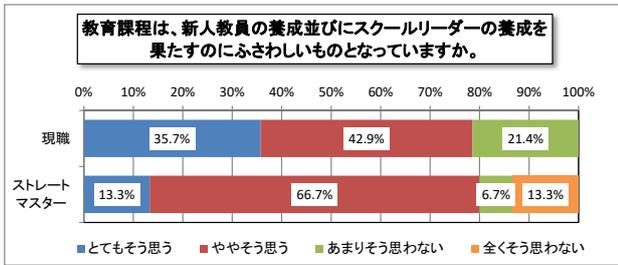
(5) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とても難しかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
2 やや難しかった	7 (50.0%)	6 (40.0%)	13 (44.8%)
3 ちょうどよかった	5 (35.7%)	5 (33.3%)	10 (34.5%)
4 やや易しかった	2 (14.3%)	1 (6.7%)	3 (10.3%)
5 とても易しかった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



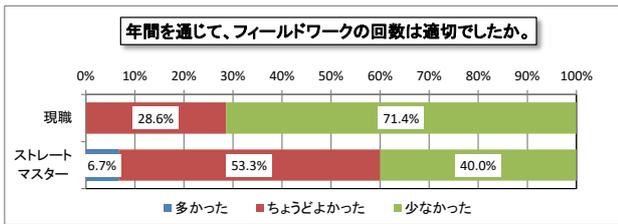
(6) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	4 (28.6%)	4 (26.7%)	8 (27.6%)
2 まあまあ適切だった	8 (57.1%)	5 (33.3%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	2 (14.3%)	5 (33.3%)	7 (24.1%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



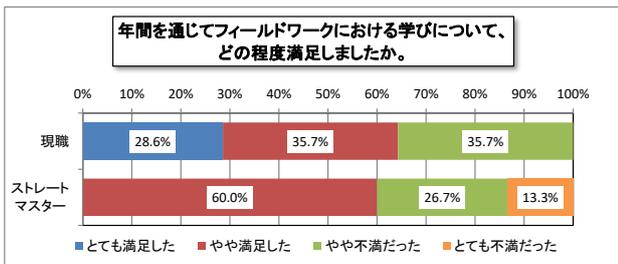
(7) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもそう思う	5 (35.7%)	2 (13.3%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	6 (42.9%)	10 (66.7%)	16 (55.2%)
3 あまりそう思わない	3 (21.4%)	1 (6.7%)	4 (13.8%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



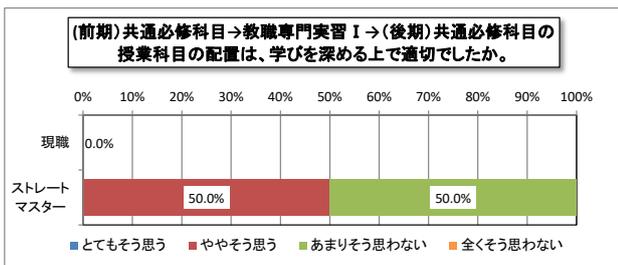
(8) 年間を通じて、フィールドワークの回数は適切でしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 多かった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
2 ちょうどよかった	4 (28.6%)	8 (53.3%)	12 (41.4%)
3 少なかった	10 (71.4%)	6 (40.0%)	16 (55.2%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



(9) 年間を通じてフィールドワークにおける学びについて、どの程度満足しましたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とても満足した	4 (28.6%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)
2 やや満足した	5 (35.7%)	9 (60.0%)	14 (48.3%)
3 やや不満だった	5 (35.7%)	4 (26.7%)	9 (31.0%)
4 とても不満だった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

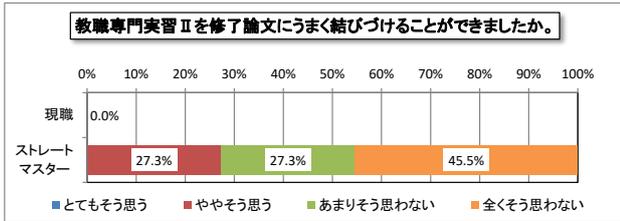


(10) (前期)共通必修科目⇒教職専門実習Ⅰ⇒(後期)共通必修科目の授業科目の配置は、学びを深める上で適切でしたか。(M1ストレートマスター対象)

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)
3 あまりそう思わない	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	0 (0.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 現職・ストレートマスター別)

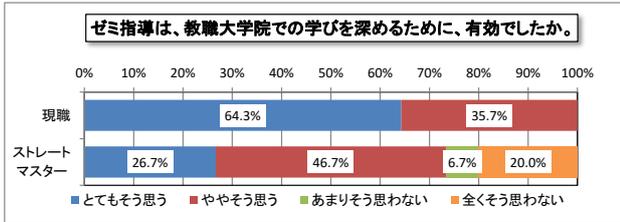
教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びつけることができましたか。



(11) 教職専門実習Ⅱを修了論文にうまく結びつけることができましたか。
(M2ストレートマスター対象)

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもそう思う	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 ややそう思う	0 (0.0%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)
3 あまりそう思わない	0 (0.0%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)
合計	0 (0.0%)	11 (100.0%)	11 (100.0%)

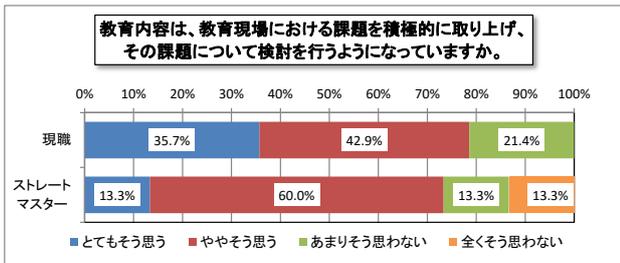
ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。



(12) ゼミ指導は、教職大学院での学びを深めるために、有効でしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもそう思う	9 (64.3%)	4 (26.7%)	13 (44.8%)
2 ややそう思う	5 (35.7%)	7 (46.7%)	12 (41.4%)
3 あまりそう思わない	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (10.3%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

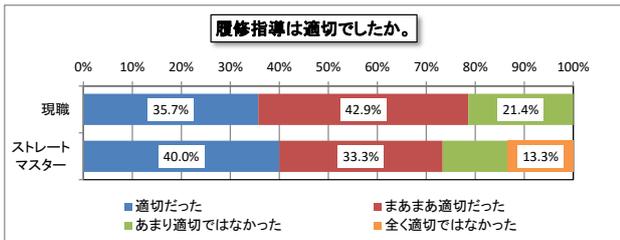
教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。



(13) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもそう思う	5 (35.7%)	2 (13.3%)	7 (24.1%)
2 ややそう思う	6 (42.9%)	9 (60.0%)	15 (51.7%)
3 あまりそう思わない	3 (21.4%)	2 (13.3%)	5 (17.2%)
4 全くそう思わない	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

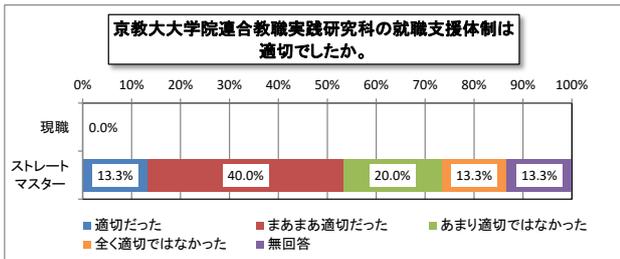
履修指導は適切でしたか。



(14) 履修指導は適切でしたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	5 (35.7%)	6 (40.0%)	11 (37.9%)
2 まあまあ適切だった	6 (42.9%)	5 (33.3%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	3 (21.4%)	2 (13.3%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

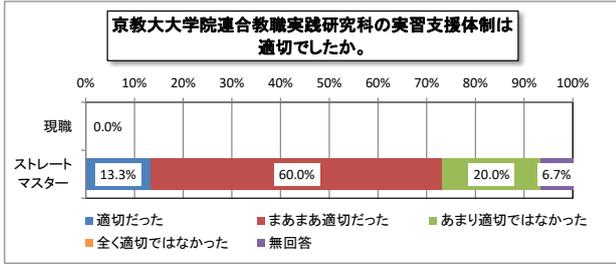
京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



(15) 京教大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。
(ストレートマスター対象)

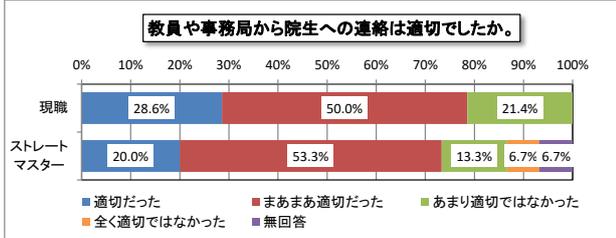
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	0 (0.0%)	6 (40.0%)	6 (40.0%)
3 あまり適切ではなかった	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)
5 無回答	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)
合計	0 (0.0%)	15 (100.0%)	15 (100.0%)

(16) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。(ストレートマスター対象)



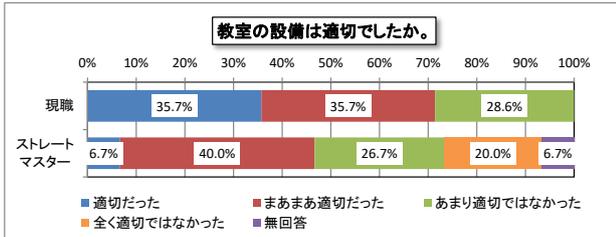
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)
2 まあまあ適切だった	0 (0.0%)	9 (60.0%)	9 (60.0%)
3 あまり適切ではなかった	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (20.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5 無回答	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)
合計	0 (0.0%)	15 (100.0%)	15 (100.0%)

(17) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。



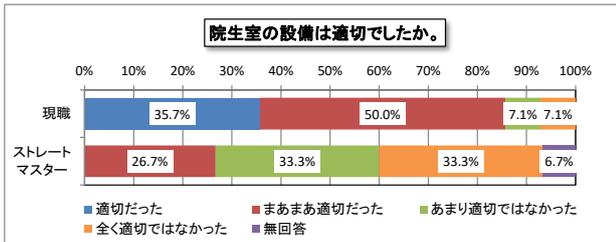
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	4 (28.6%)	3 (20.0%)	7 (24.1%)
2 まあまあ適切だった	7 (50.0%)	8 (53.3%)	15 (51.7%)
3 あまり適切ではなかった	3 (21.4%)	2 (13.3%)	5 (17.2%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
5 無回答	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

(18) 教室の設備は適切でしたか。



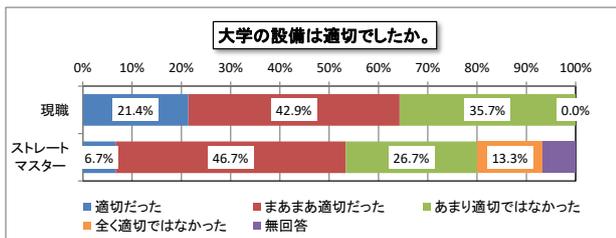
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	5 (35.7%)	1 (6.7%)	6 (20.7%)
2 まあまあ適切だった	5 (35.7%)	6 (40.0%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	4 (28.6%)	4 (26.7%)	8 (27.6%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (10.3%)
5 無回答	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

(19) 院生室の設備は適切でしたか。



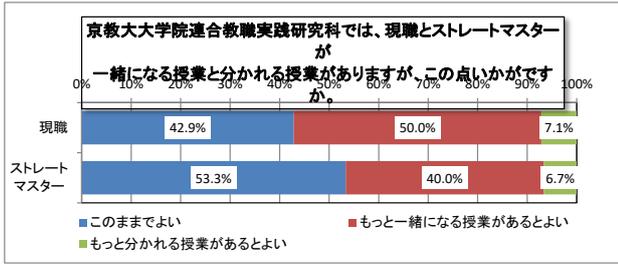
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	5 (35.7%)	0 (0.0%)	5 (17.2%)
2 まあまあ適切だった	7 (50.0%)	4 (26.7%)	11 (37.9%)
3 あまり適切ではなかった	1 (7.1%)	5 (33.3%)	6 (20.7%)
4 全く適切ではなかった	1 (7.1%)	5 (33.3%)	6 (20.7%)
5 無回答	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

(20) 大学の設備は適切でしたか。



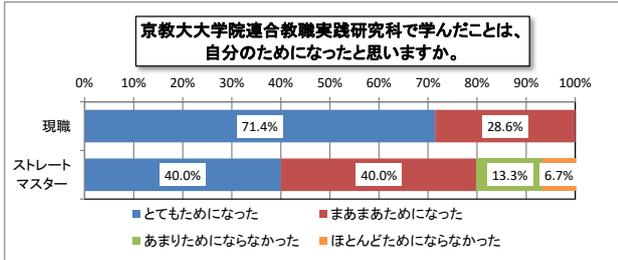
区分	現職	ストレートマスター	合計
1 適切だった	3 (21.4%)	1 (6.7%)	4 (13.8%)
2 まあまあ適切だった	6 (42.9%)	7 (46.7%)	13 (44.8%)
3 あまり適切ではなかった	5 (35.7%)	4 (26.7%)	9 (31.0%)
4 全く適切ではなかった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
5 無回答	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)

研究科アンケート(2020年度 現職・ストレートマスター別)



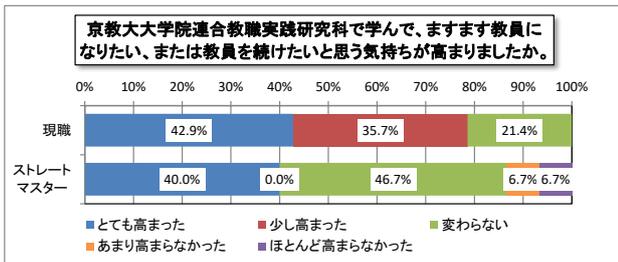
(21) 京教大大学院連合教職実践研究科では、現職とストレートマスターと一緒に授業と分かれる授業がありますが、この点いかがですか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 このままでよい	6 (42.9%)	8 (53.3%)	14 (48.3%)
2 もっと一緒に授業があるとよい	7 (50.0%)	6 (40.0%)	13 (44.8%)
3 もっと分かれる授業があるとよい	1 (7.1%)	1 (6.7%)	2 (6.9%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



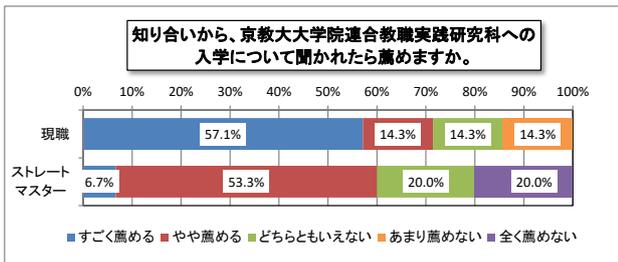
(22) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とてもためになった	10 (71.4%)	6 (40.0%)	16 (55.2%)
2 まあまあためになった	4 (28.6%)	6 (40.0%)	10 (34.5%)
3 あまりためにならなかった	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (6.9%)
4 ほとんどためにならなかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



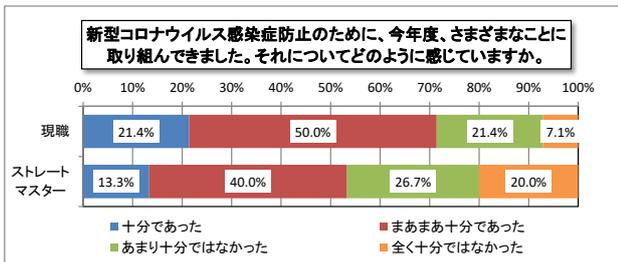
(23) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 とても高まった	6 (42.9%)	6 (40.0%)	12 (41.4%)
2 少し高まった	5 (35.7%)	0 (0.0%)	5 (17.2%)
3 変わらない	3 (21.4%)	7 (46.7%)	10 (34.5%)
4 あまり高まらなかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
5 ほとんど高まらなかった	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (3.4%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



(24) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 すごく薦める	8 (57.1%)	1 (6.7%)	9 (31.0%)
2 やや薦める	2 (14.3%)	8 (53.3%)	10 (34.5%)
3 どちらともいえない	2 (14.3%)	3 (20.0%)	5 (17.2%)
4 あまり薦めない	2 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)
5 全く薦めない	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (10.3%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)



(25) 新型コロナウイルス感染症防止のために、今年度、さまざまなことに取り組んできました。それについてどのように感じていますか。

区分	現職	ストレートマスター	合計
1 十分であった	3 (21.4%)	2 (13.3%)	5 (17.2%)
2 まあまあ十分であった	7 (50.0%)	6 (40.0%)	13 (44.8%)
3 あまり十分ではなかった	3 (21.4%)	4 (26.7%)	7 (24.1%)
4 全く十分ではなかった	1 (7.1%)	3 (20.0%)	4 (13.8%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)	29 (100.0%)